

# 風越山城〈前編〉

吉田町相合、美土里町横田

【登城ガイド】  
標高/555m 比高/210m  
史跡指定/未指定 城主/尼子氏  
所要時間/印内集落から約50分



風越山城遠望(南側大峠林道より撮影)

**立地**：吉田町と美土里町の町境に近く、この辺りで最も高い山頂部にあります。周囲の道とも隔絶した山深い場所にあるため登山道はありませぬ。山頂の標高は郡山より遥かに高く、直線でも約4キロ離れており、郡山城と直接には対峙できない立地です。

**歴史**：毛利元就側の記録によると、1540年9月4日、山縣郡の川井方面から侵攻した尼子軍の多治比に着陣し、以後4ヶ月に及ぶ毛利軍との郡山合戦が始まりますが、この多治比の陣が風越山とされています(厳密にはここは多治比ではない)。同9月23日、尼子軍が青山と光井山に陣を移しますが、その際本陣であった風越山が毛利方に攻撃され、一部が焼かれます。その後、日付不明ですが風越表で戦闘が記録されていることから、風越山は陣を移した後も引き続き尼子軍の拠点(兵糧や物資の基地か?)であったと思われる。元就の記録では当初ここに3万の尼子軍が集結しましたが、これは相当誇張された数と言われています。

**備考**：江戸時代において風越山は城跡という認識がされておらず、古戦場として記されています。一方、同じ尼子の陣跡の青山や光井山は城跡とされています。尼子氏と毛利氏の大きな分岐点となった郡山合戦の重要な遺構であるにも拘らず、その城跡の全貌が明らかとなったのは最近のことなのです。

今回は本市内で確認されている城跡の中でも屈指の標高を誇り、歴史的にも重要な役割を果たした風越山城です。郡山合戦に登場し知名度はあるものの、山奥のため現地を訪れる人は多くありません。樹木や雪に阻まれながら必死に登ったこの城を2回に分けて紹介いたします！

シリーズ「お城拝見！」第五十五回

安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 秋本哲治



風越山城位置図及び尼子軍の移動ルート



鬱蒼とした樹木に覆われた堀跡を歩く

## 編集後記

ふるさと応援寄附金、毎年多くの方に協力していただいています。色々な理由で今は、安芸高田市を離れて暮らす方も安芸高田市のことが気になっていることの表れではないでしょうか。お預かりした寄附金に込められた思いを大切にしないといけないと感じました。(森本)

最近メディアでよく話題になるふるさと応援寄附金ですが、私自身、記事を作成するときに、手続きが意外に簡単ということを知りました。多くの皆様に活用していただければ幸いです。(田村)

## 今月の表紙

社会福祉法人ちとせ会 特別養護老人ホーム百楽荘にて、ふるさと応援寄附金の「高齢者が安心していきいきと暮らせるふるさとづくり事業」「市長お任せ事業」により、平成22年に寄贈した車椅子を、利用者の皆さんに使っていただいています。和気あいあいとした雰囲気写真に写ってくださいました。

ふるさと応援寄附金で  
車椅子を寄贈して頂きました



(今月の主な内容)

2~3  
新年のごあいさつ

4~5  
ふるさと応援寄附金で安芸高田市を元気に

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/

NO.137  
1  
2015.Jan

# Akitakata

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」